

2017年 新春号  
通算16号  
2017年1月発行



季刊 医療法人社団シャローム 広報誌

# シャローム通信



あなたのシャロームは私たちのシャロームです  
Your Shalom is Our Shalom

小児科 中村小百合医師

## 医療法人社団シャロームの理念と使命

### 【理 念 (表題)】

私たちは聖書の教えに基づき、病める人々とご家族の痛みに寄り添い、心を合わせて、優しく温かい医療に努めます。

### 【使 命】

在宅医療、緩和医療、救急医療を特性とし、地域のニーズに呼応した多岐にわたる医療を行う。



## 「新春号に寄せて」



シャローム病院  
すきからみのる  
院長 鋤柄 稔

新年明けましておめでとうございます。日頃のご愛顧に心から感謝申し上げます。

当院では、昨年7月から緩和ケア病棟の運営が本格的にスタートしました。それから半年以上が経過しました。過去3年、経営的には厳しいものがありました。医療の質を高めるために病院機能評価審査を受けようと決めましたが、審査の準備段階で、今まで無かった機能や人材を新たに加えるという先行投資が必要でした。幸いにも、審査にパスし、経営的危機も脱することができました。医療の質を上げることの必要性を理解し、財政状況も汲み取ってがんばってくれた職員に感謝と誇りを覚えます。職員には病院以外の部門の職員も含まれます。すなわち、分院であるシャロームにつきい医院、訪問看護ステーション、介護支援事業所、ヘルパーステーション等の職員であります。彼らも、病院の置かれている状況をよく理解し、協力を惜しまず、最大限支援してくれました。ありがたく思います。また、陰で支えて下さった方々を、感謝をもって思い出します。特に、無償で奉仕して下さっているボランティアの方々に励まされてきました。

長年の夢が実現した今、登山で言えば目指していた山の頂上に立ったと考えがちです。しかし、今こそ謙虚さが求められていると思います。病院機能評価審査合格といっても、日本の病院の標準レベルの機能を備えることができずに過ぎません。私どもは人の命に関わる仕事に就いています。当院を信頼して訪れてくださる患者さんに少しでも質の高い医療を提供すべく、今後も歩み続ける責務があります。本年度は、終末期患者さんご家族の集いを立ち上げる計画があります。6月に緩和ケア病棟運営開始1周年記念講演会を予定しています。地域の皆様のニーズを汲み取り、皆様に少しでも役に立つ法人、病院として努力いたします。今後ともご支援、ご鞭撻をお願いいたします。

最後に、今まで「現状に満足すること無く更なる上を目指す」と述べてきましたが、個人のレベルでは、現状に満足することは、実はとても大事なことを付け加えたいと思います。「足るを知る」ということわざがあります。聖書の中ではパウロは、神から、「私（神）の恵みはあなたに対して十分である」と言われました。人の一生は、現在の積み重ねです。毎日、今という時が生き甲斐と感謝で満ちていることも大事なのです。私たちの希望、幸福の全てを将来（未来）に託す時、いつになってもそれらを得ることができません。開院当初のシャローム通信の中で、「もっと&もう」というタイトルで書かせていただいたことがありました。「もっと上を目指す」と「もう十分である」の二つがバランスのとれた一年であることを祈り、願います。皆様にとっても良き一年でありますよう。



## 医師紹介



中村 小百合 医師

(旧姓：鋤柄)

- 【氏 名】中村 小百合 なかむら さゆり
- 【診 療 科】小児科
- 【専門医等】日本小児科学会認定小児科専門医・指導医、AHA 認定 PALS (小児二次救命処置法) プロバイダー、医学博士
- 【所属学会】日本小児科学会、日本小児神経学会、日本てんかん学会、日本外来小児科学会
- 【趣 味】コーヒー屋さんのはしご



### ～ 自己紹介 ～

平成 27 年 4 月よりシャローム病院に常勤医師として赴任し、小児科診療を始めさせていただきます、中村と申します。私は毛呂山町の埼玉医科大学病院で生まれ、シャローム病院のある東松山市で育ちました。幼い頃はいま病院があるところは雑木林になっていて、近所の友人とよく遊びました。竹の子を引っこ抜いてままごとをしていたら祖父に叱られたのを思い出します。そんな木々も伐採され・・・、高校生の時に「シャローム鋤柄医院」が開設され、その頃から院長の志をよく耳にしていたように思います。

医学部に入学してからは東松山を離れて学んでまいりました。お子さんを中心にご家族とつくる「輪」の医療に魅力とやりがいを感じ、小児科医を志しました。また、小児救急の他、特に小児神経疾患（てんかん、脳性麻痺、発達障害など）、小児神経学に興味を持ち、学び携わってまいりました。医師となってからあらためて院長の思いを冊子で読んだとき、感銘を受けたのを覚えています。

平成 25 年に医院から病院に拡張されるにあたり小児科診療部門を確保していただき、また東松山に戻り仕事ができることとなりました。感謝しております。この開院 22 周年を迎えたシャローム病院で、新たな枝葉の一つとなっていくことができるよう、神様に用いられる者の一人として、日々丁寧な診療に努めてまいりたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。



### ～ 小児在宅医療について ～

これまで勤務した病院では、様々な障がいを抱え医療的ケアが必要なお子さんが、なかなか病棟からご自宅に帰れない場面に多々出会いました。産まれてから病棟以外で過ごしたことの無いお子さんもいらっしゃいました。往診体制など地域での支援が十分でないことも一つの原因だったと思います。シャローム病院に赴任し、すでに常勤の先生方によってお子さんの支援が行われていることに感銘を受けました。今後は私も共にお力になりたいと考えています。新たに往診・通院など、ご希望の方がいらっしゃいましたらご相談ください。





## 小児科紹介



そのままだに、あるがままだに、あなたと私の Shalom (シャローム病院の基本方針)  
～お子さんだけでなくご家族もそのままに、あるがままだに、いらしてください～

急性、慢性・反復性、種々症状に対応いたします。できるだけ速やかに適切に対応し、症状改善をはかることができるよう努めます。よくお話を聞き、丁寧にご説明するよう努めます。最新の知見や情報を収集するよう努め、勉強会などでスタッフ間での知識の共有もはかっていきます。各種予防接種、乳幼児健診、発達相談もお受けいたします。

シャローム病院では、外科、皮膚科、各科の先生方との連携がスムーズです。けが、虫垂炎やヘルニアなどの外科的疾患、皮膚症状がある場合は、必要に応じて該当する専門科にご紹介させていただきます。また、必要に応じて連携病院（埼玉医科大学病院等）にご紹介いたします。

※重症度によって受付順と診察順が異なってしまふことがありますことをご了承ください。

### 小児科スタッフより

夜中に熱を出した ... 吐いて下痢してぐったりしている ... 咳で何度も吐いてしまう ... 大切なお子さんの体調不良は一大事です。このまま朝まで様子みられるかしら ... 数日続いた熱は明日の朝には下がってくれるかしら ... 不安で一杯の長い夜を過ごすお母さんは精神的にも疲労困ぱいです。そんなお母さんの気持ちに少しでも寄り添えるよう日々努めております。お子さんとお母さんの笑顔のために、優しいうさぎ先生と一緒にスタッフ一同お待ちしております。



### うさぎ先生とは？

「うさぎ先生」は絵本作家の小笠原まきさんがシャローム病院のために制作して下さった物語「うさぎ医院のお話」の主人公です。お月様でお医者さんをしていたうさぎ先生は、いつも望遠鏡で地球の様子を見ていました。そしてある日地球にやってきます・・・。

小児科内では、うさぎ先生のオブジェや壁画などをあちこちに見つけることができます。この物語も壁に飾られていますので、小児科を受診の際にはぜひ読んでみてくださいね。





## 設備など

小児科では、設備面も充実させ、患者さんの症状に適應し、快適にご利用いただけるよう様々な工夫をしています。こちらではその一部をご紹介します。



### 待合室



広いスペースを確保しておりますのでバギーもそのままお入りいただけます。

### プレイルーム



プレイルームにはおもちゃや本をたくさんご用意しています。



### ベビーベッド



ベビーベッドもございます。お支度などにご使用ください。

### 観察室



必要に応じて吸入、点滴などの処置を行います。

### 感染外来待合室



感染性の強い症状や診断のある方には個室の待合室でお待ちいただき、感染の拡大を防いでいます。また、お子さんそれぞれの状態に応じて適宜個室待機としています。

### 授乳室



授乳スペースもございますのでご利用ください。





## シャロームクリスマス会



声楽

12月13日に当院にて「シャロームクリスマス会」が催されました。今年は声楽家の岸田順子さんをゲストにお迎えし、美しく高らかな讃美歌を披露していただきました。患者さんも職員も時を忘れて聴き入りました。岸田さん、伴奏者の中村さん、素敵な時間をありがとうございました。



チャプレンのクリスマスのお話

他にも、チャプレン（牧師）のクリスマスのお話を聞いたり、皆で讃美歌を歌ったり、とても楽しいクリスマス会となりました。



## キャロリング

キャロリングとは讃美歌を歌ってキリストの誕生を告げ知らせることです。今年も医師や看護師、チャプレン（牧師）、ボランティアスタッフなどが、入院されている患者さんの各病室を訪問し、讃美歌「きよしこの夜」を歌わせていただきました。静かに耳を傾る患者さん、一緒に歌う患者さん、1曲の時間を患者さん一人ひとりと共有できたことに感謝します。

患者さんにご家族の上に豊かな平安と慰めが満ち溢れますように...





## 「感謝とねぎらいの歌」～あなたの価値は変わらない～

鋤柄院長 作詞・作曲「感謝とねぎらいの歌～あなたの価値は変わらない～」をご紹介します。この曲は、院長の講演を聞きに来てくださる方に、院長自ら講演会場で歌を披露したいという想いから制作されました。当初は団塊の世代を励ます歌を作るつもりでしたが、高齢者にも向けた曲に仕上がったとのこと。

そしてこの曲は、講演会で曲を聴いてくださった方のご厚意により、自主制作でCD化されました。プロの音楽家の方が歌・ピアノを担当して下さり、素敵なCDに仕上がりました。有難いことです。また、そのことが埼玉新聞にも掲載されました。



【11月24日 埼玉新聞】

### 「感謝とねぎらいの歌」～あなたの価値は変わらない～

作詞・作曲 鋤柄 稔  
編曲 ほほえみスマイルズ  
歌 島田 裕里子  
ピアノ 小島 慶子

1. 春になって 歳を重ねると  
顔のしわと 白髪はふえる  
それでも あなたの価値は 変わらない  
よくがんばった よく働いた  
よく生きぬいて 育ててくれた  
あなたの あなたの価値は 変わらない

2. 寝たきりで 何もできないし  
ぼけちゃって トンチンカンに  
それでも あなたの価値は 変わらない  
よくがんばった よく働いた  
よく生きぬいて 育ててくれた  
あなたの あなたの価値は 変わらない

3. だれを愛し だれに愛された  
いるだけでも 十分ですよ  
いつでも あなたの価値は 変わらない  
よくがんばった よく働いた  
よく生きぬいて 育ててくれた  
いつでも あなたの価値は 変わらない  
いつでも あなたの価値は 変わらない

CDはご希望の方には当院総合受付にて販売もしています。CD代（1枚500円）は、シャローム病院へ寄付され、皆様へのより良い医療のため還元していきたいと考えております。

### 『ことのは』抄 第6回

～ 塩の話Ⅳ ～ 殺菌、防腐、保存。塩の大事な特性。「自分の内に塩を持ちなさい。」（聖書）心のバイ菌（罪悪）を退治する塩。それは愛。寛容、慈悲、善意、誠実、柔和、忍耐、自制など、神様が御自分の「似姿形」に造られた、人間の内に宿らせる、すばらしい煌きの「結晶」。

チャプレン(牧師)  
堀之内豊



## ボランティア活動 1000 時間到達！

当院で病院ボランティアをしてくださっている伊澤澄子さん。いつもとっても素敵な笑顔に癒されます。伊澤さんは当院の元職員で、退職後の2015年よりボランティア活動をしてくださっています。そんな伊澤さんがボランティア活動延べ1000時間達成したということで、院長より感謝の気持ちを込めて、お礼の言葉と感謝状が贈られました。

ボランティアの皆さんの活動は当院にとって大きな力です。また、その姿から私たち職員も学ぶことが多くあります。本当にいつもありがとうございます。



### 病院ボランティア募集中！


病院のサポーターになっていただけませんか？活動内容は当院のHPにも掲載しています。ご質問だけでもお気軽にどうぞ。

TEL：0493-25-2979

ボランティアコーディネーター 平田  
総務課 鋤柄（スキガラ）



医療法人社団シャローム

シャローム病院 

【TEL(代表)】0493-25-2979

【住所】〒355-0005 埼玉県東松山市大字松山 1496 【ホームページ】<http://shalorm.or.jp/>

訪問看護ステーション シャローム

【TEL】0493-27-4105

【FAX】0493-23-0035

介護支援事業所 シャローム

【TEL】0493-25-3141

【FAX】0493-23-0035

ヘルパーステーション シャローム

【TEL】0493-27-5070

【FAX】0493-23-0265

シャロームにつさい医院

【住所】〒350-0258 埼玉県坂戸市  
大字北峰 306 番地

【TEL】049-280-7373

【FAX】049-280-7374

【HP】<http://shalorm.or.jp/nissai/index.html>